

5月～8月は野鳥の子育てシーズンです！

親鳥が近くにおいて、
子育てをしています

ヒナを拾わないで

巣立ったばかりのヒナ（巣立ちヒナ）は、まだうまく飛ばず、単独で地面にいることがあるため、親鳥からはぐれて弱っているように誤解されてしまいます。



親鳥はエサを探したり、ほかの兄弟の世話をしているだけで、はぐれてしまったわけではなく、まだ育児を継続しているところです。人間が誤って保護してしまうと、自然で生きていくすべを親鳥から学ぶ機会を奪ってしまうことになり、生き残れなくなります。

巣立ちヒナを見つけても手を出さず、親鳥の世話の邪魔をしないよう立ち去りましょう

◆ 巣立ち直後の「巣立ちヒナ」の特徴

- ☑ 地面にうずくまっている、高く飛べない
- ☑ 羽は生えそろうているが、産毛が残っている
- ☑ くちばしの端が黄色っぽい
- ☑ 尾羽が短い、体の色が薄い

これでも
もう巣立って
います！



メジロ



シジュウカラ



ツバメ



スズメ

◆ 親鳥にしか教えられないことがあります



飛びかた



エサのとりかた



危険からの回避方法



コミュニケーションのとりかた

自然の中では、すべての生き物たちは生態系の一員として、お互いにかかわりあって生きています。傷ついて死んでいくことも生態系の重要なしくみのひとつで、ほかの生き物の糧となり、命をつなぐ役割があります。この命のつながりに人間がむやみに介入することは、必ずしも野生動物のためにはなりません。



生き物の命は他の生き物に
つながっていきます

食べられることが多い
生き物ほど数は多い

自然のバランス

神奈川県自然環境保全センター
自然保護課

厚木市七沢657

☎046-248-0500

☎046-248-6682

くわしくはホームページをごらんください

傷病鳥獣救護 神奈川県

